

2003(平成15)年度

講義内容

医療健康科学部

An hourglass is centered in the background, with sand falling from the top bulb to the bottom bulb. The entire scene is set against a warm, orange-toned background with a subtle circular pattern.
駒澤大学

講 義 內 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	19
(1)	人 文 分 野	19
(2)	社 会 分 野	25
(3)	自 然 分 野	33
(4)	総 合 分 野	41
3	外 国 語 科 目	49
4	保 健 体 育 科 目	61
II	専 門 教 育 科 目	67

全	宗教教育科目
	人文分野
学	社会分野
	自然分野
共	総合分野
	外国語科目
通	保健体育科目
	専門教育科目
科	保健体育科目
	専門教育科目
目	専門教育科目

I 全 学 共 通 科 目

1 . 宗 教 教 育 科 目

宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏	教	と	人	間	〈木 村 誠 司〉	9
文	化	と	宗	教	〈長谷部 八 朗〉	9
社	会	と	宗	教	〈池 上 良 正〉	9
自	然	と	宗	教	〈小 川 順 敬〉	10
坐				禪	〈熊本 英人・木村 誠治〉	11

宗教教育科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	木村誠司	放1必	4

講義のねらい

前半は、インド・中国・日本の仏教を年代順に考察し、教理上重要な問題にも言及する。後半は、般若心経などの経典や道元の著作などにも触れ、原典から仏教を学ぶ。

成績評価の方法

評価はペーパーテストによって行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	長谷部八朗	放選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	池上良正	放選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	放選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 禅	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	放選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはごちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

 講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

宗教教育科目

2 . 教 養 教 育 科 目

人
文
分
野

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文 学〔日本文学「古典」〕〈島田 伸一郎〉	19
文 学〔日本文学「古典」〕－フレックスB開講－〈合瀬 純華〉	19
文 学〔日本文学「近代」〕－フレックスB開講－〈保明 陽子〉	20
論理学〔科学方法論と現代論理学〕－フレックスB開講－〈伊古田 理〉	20
論理学〔科学方法論と現代論理学〕－フレックスB開講－〈麻生 享志〉	21
倫理学〔現代と倫理〕－フレックスB開講－〈古田 知章〉	22
倫理学〔人生と倫理〕－フレックスB開講－〈末木 恭彦〉	22
宗教学〔聖と俗〕－フレックスB開講－〈菅原 壽清〉	23
宗教学〔比較宗教文化〕－フレックスB開講－〈田中 かの子〉	24

(2) 社会分野

社会学〔現代文化を考える〕〈金澤朋広〉	25
社会学〔現代社会を考える〕—フレックスB開講—〈呉炳三〉	25
社会学〔現代文化を考える〕—フレックスB開講—〈橋爪敏〉	26
文化人類学〔文化と人間〕〈佐藤憲昭〉	26
文化人類学〔文化と人間〕—フレックスB開講—〈川上新二〉	27
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕—フレックスB開講—〈杉井純一〉	28
法学・憲法〔法と権利〕〈沼田雅之〉	29
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—〈西修〉	30
法学・憲法〔法と権利〕—フレックスB開講—〈鶏徳啓登〉	31
法学・憲法〔法と社会生活〕—フレックスB開講—〈長谷川日出世〉	31
経済学〔現代経済と人間〕—フレックスB開講—〈明瀬政治〉	32

(3) 自然分野

基礎数学	学〈熊坂 さつき〉	33
基礎物理学	学〈佐藤昌憲・小林久夫〉	33
基礎化学	学〈原田 和正〉	34
生命科学	学〈清水 善和〉	35
情報処理技術	学〈杉田 徹〉	36
物理学序論	学〈佐藤昌憲・小林久夫〉	36
化学序論	学〈山本 裕右〉	37
科学基礎論	学〈氏家 盛通〉	38
科学基礎論	学〈熊坂 さつき〉	38
科学基礎論	学〈杉田 徹〉	39
科学基礎論	学〈高野 正雄〉	39
科学基礎論	学〈山本 裕右〉	40
科学基礎論	学〈吉川 宏起〉	40

(4) 総 合 分 野

総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕〈ピアス, D.M.〉	41
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕〈岡崎 寿一郎〉	42
総合Ⅲ(3)〔スペイン語圏文化の諸相〕〈上野 勝 広〉	42
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕〈林 明 人〉	43
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕〈丸 小 哲 雄〉	43

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文学〔日本文学「古典」〕	しま だ しんいちろう 島 田 伸一郎	放選	4

講義のねらい	「古くて新しい」和歌集である『万葉集』。現存する最古の和歌集だが、そこには現代の我々にも通じる「思い」を詠んだものも多い。また「やまとうた」の歌集でありつつも、先進の中国文学・文化に受けた影響は大きい。その点でも「古くて新しい」和歌集である。そうした万葉の歌を読みながら、文学に親しむとともに、文学について考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	毎時、テーマや歌人別に一首から数首を取り上げる。語義・語法や歴史的背景の解説、関連する神話・説話や他の作品の紹介を行いつつ歌を多面的に捉え、歌われた場と歌われた「思い」について考えていく。
履修上の留意点	特に予習の必要はないが、取り上げる歌を予告するので、声に出して読んで来てほしい。
成績評価の方法	夏期休業後に提出のレポートと年度末の定期試験の得点に出席状況を加味して評価する。
教科書	小野寛『新選万葉集抄』笠間書院、1,600円
その他	授業の展開は講義形式による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文学〔日本文学「古典」〕 (フレックスB開講)	おお せ すみ か 合 瀬 純 華	放選	4

講義のねらい	平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『根南志具佐』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、変体仮名の解読を目標とする。
履修上の留意点	講義中の私語、携帯電話の使用（含メール）は禁止する。
成績評価の方法	出席状況および前後期2回の定期試験による。
教科書	必要に応じてプリントして配布する。
参考書等	中村幸彦校注『風来山人集』（岩波書店、日本古典文学大系） その他。
その他	4月開講第一回目の授業時に詳細なシラバスを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学〔日本文学「近代」〕 (フレックスB開講)	ほあき ようこ 保 明 陽 子	放選	4

講義のねらい 明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール 文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点 この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品を本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を探求し、そして実際にその本を読み、そこで獲得した読みの成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法 毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書 適宜講義で指示する。

参考書等 適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論 理 学 〔科学方法論と現代論理学〕 (フレックスB開講)	いこた まさる 伊古田 理	放選	4

講義のねらい 現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール ①古典的三段論法 ②公理系Ⅰ～命題論理 ③公理系Ⅱ～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法 年2回の試験（夏期中間試験+年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。
詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書 開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 〔科学方法論と現代論理学〕 (フレックスB開講)	あさ お たか し 麻 生 享 志	放 選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

多数。講義内にて詳細に説明します。

そ の 他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学〔現代と倫理〕 (フレックスB開講)	ふる た とも あき 古 田 知 章	放選	4

講義のねらい 今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上でこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法 二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書 『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等 講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学〔人生と倫理〕 (フレックスB開講)	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	放選	4

講義のねらい 人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール 今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋(特に中国・日本)に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点 ノートは確実にとる(板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること)

成績評価の方法 中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書 『東洋的環境思想の現代的意義』(農山漁村文化協会)

参考書等 講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学〔聖と俗〕 (フレックスB開講)	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	放選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと考えております。授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は聖と俗を手がかりに、日本人の生死観、東南アジアや中国雲南など、具体的な地域の事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について、順次考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
 - 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）
〈宗教の多様性〉
 - 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 - 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）
〈聖なるコスモロジー〉
 - 5、聖と俗
 - 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
 - 7、シャーマニズム
 - 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教 科 書

指定なし。

参 考 書 等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

そ の 他

ビデオ・スライドなども使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学〔比較宗教文化〕 (フレックスB開講)	たなか のこ 田 中 かの子	放 選	4

人 文 分 野

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

比較宗教文化の具体例としては、仏教美術とキリスト教美術を取り上げる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教 科 書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	かな さわ とも ひろ 金 澤 朋 広	放選	4

講義のねらい 現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 「現代文化」を取り巻く状況を医療・福祉・組織・情報の分野での題材を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの見方を身につけられるようにしていく。

成績評価の方法 講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。

教科書 開講時に指定。

参考書等 講義時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕 (フレックスB開講)	お びよん さん 呉 柄 三	放選	4

講義のねらい 社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何かだろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
 - ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
 - ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー(社会的な性)」の問題を考える。
 - ④若者文化(ユース・カルチャー)が現代において果たす役割とは?など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点 授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のよように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法 開講時に説明する。

教科書 労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』(学文社) 2,500円

参考書等 講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕 (フレックスB開講)	橋爪敏	放選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)
R. ニスベット『現代社会学入門 1~4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	佐藤憲昭	放選	4

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究する学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちとを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間とのとの関係をさまざまな角度から考える。

つぎに、文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術－宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合(または欠席をする場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点(4年生のみ該当)と出席点を加算して最終評価を行う。

4年生のみ提出のレポートは、次の通り。【課題】文化人類学に関する書物を読み、その感想文を作成する。【枚数】400字詰原稿用紙で5枚。【提出先と時期】授業時に随時受けつける。ただし授業時以外は受理しない。【その他】表紙(科目名・担当教員名・題目・学部・学科・学年・番号・氏名を記載)をつけること。4年生は必ず提出のこと。

教科書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』有斐閣Sシリーズ(有斐閣)

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕 (フレックスB開講)	かわ しみん じ 川 上 新 二	放 選	4

講義のねらい

世界にはさまざまな文化を背景として暮らす人々がいるが、その彼らのもつさまざまな文化を理解すること（異文化理解）が、すなわち彼らを理解することにつながる。また異文化理解は我々以外の文化を理解するというだけではない。異文化を理解することは、我々の文化の再発見、再認識にもつながる。さらにさまざまな文化の理解は、それを生み出した人間の理解にもつながる。この講義では、さまざまな異文化を紹介しながら、その理解のための見方を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、文化とは何か、文化人類学における文化のとらえ方について紹介した後、婚姻、家族、親族、宗教、儀礼、経済行為などさまざまな場面で見られる世界各地の事例を紹介しながら、異文化理解のための視点を養うことにする。

成績評価の方法

出席状況、レポートの提出状況および内容、定期試験によって評価する。原則として遅刻、途中退席を認めず、また頻繁に授業内容のまとめ等のレポートを提出してもらうことを考えている。

教 科 書

教科書は指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕 (フレックスB開講)	すぎ い じゆん いち 杉 井 純 一	放選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化とコミュニケーション
 - 3. 環境と人間
 - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. 儀礼の構造
 - 3. 儀礼・神話・世界観
 - 4. 神聖王権
 - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	めま た まさ ゆき 沼 田 雅 之	放選	4

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。前期は、「民事法」を中心に今の社会を見ていきます。「自動販売機で缶ジュースを買う」という行為も法的に見れば「契約」です。そして民事法とは、契約関係を中心とする「人」と「人」の関係を扱う法分野です。みなさんが想像しやすいように、この私的関係の問題から講義をはじめます。後期は、「刑事法」を中心に、新たな法の課題などについても取り上げる予定です。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には講義形式ですすめるつもりです。ただし、担当教員としてはインタラクティブな講義を目指しているので、場合によっては発言を求めることがあります。その際には間違いを気にせず遠慮なく発言してもらいたいと考えています。

講義のスケジュールは下記の通りです。

(前期)

1. ガイダンス
2. 法の考える「自由」について
3. 「約束」と「契約」の違い
4. 「規制」について考える
5. 「自己決定」や「自己責任」の話
6. 自由な取引とその規制
7. 社会保障制度について考える (社会権)
8. 消費者の保護と新たな流れ
9. 診療と情報の開示・プライバシー

(後期)

1. 表現の自由と規制
2. 人身の自由と「罪」と「罰」
3. 映画「12人の怒れる男」と陪審制
4. 日本の紛争処理システムと司法制度改革の行方
5. 国際社会と法
6. インターネット社会と知的財産権の保護
7. 人間の生・死と法
8. 平等社会の実現

前期・後期を通して、習熟度によって適宜調整しながらすすめます。また、一つ一つをゆっくりと解説するつもりです。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言ってもらいたいと考えています。

成績評価の方法

基本的に後期試験(筆記)のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書は特に指定せず、レジュメを配布いたします。ただし、最新版の六法は用意してください(何でもよい)。

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

レジュメは何度も配布いたしませんので、入手できなかった方は、友人等で融通しあってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	にし 西 おさむ 修	放選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画(シラバス)を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し(質問欄あり)、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。

要するに、講義内容を活き活きしたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展(国際的視野にたつて)
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界(法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など)
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験 30%、後期試験 40%、出席・レポート 30%

教科書

開講時に指示。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水	△	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 (フレックスB開講)	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	放選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール(規範)が必要である。「社会あるところ法あり。」(法諺)といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - ①法の意義 ②法発生の背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - ①民法上の権利-権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容(財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利)、権利の発生・消滅。
 - ②憲法上の権利-自由権(経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権)、平等権、社会権(生存権、教育権、勤労権、労働者の権利)、参政権(選挙権、被選挙権)、受益権(請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権)。
 - ③国家・地方公共団体の権利-国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

社会分野

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版) 3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種類)、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕 (フレックスB開講)	は せ が わ ひ で よ 長谷川 日出世	放選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』(成文堂)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕 (フレックスB開講)	みょう せ まさ ぼる 明 瀬 政 治	放選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい(じゃん)、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

教科書

教科書は、開講時に指示します。基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参考書等

- 幸村千佳良 著『経済学事始』(多賀出版)
 伊藤元重 著『入門経済学』(日本評論社)
 林俊彦 著『需要と供給の世界』(日本評論社)

社
会
分
野

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎数学 (前期)	熊坂 さつき	放1必	2

講義のねらい

放射線の科学・技術は数学ぬきでは考えられない。精密な画像解析も、数学的手法を使えば可能になる。本講義では、ターゲットを「放射線学に応用されている数学の世界」にターゲットを絞って学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 微分、積分
テイラー展開など
2. 三角関数
三角方程式や三角関数の合成など
3. 複素数の初歩
オイラーの公式
ド・モアブルの公式
4. ベクトルの初歩

成績評価の方法

試験 (1 又は 2 回/年)、レポート

教科書

氏原真代『画像数学入門』(東洋書店)

参考書等

Paul C. Du Chatateau 著 *Ordinary Differential Equations* (Harper Perennial 社)
和達三樹『微分積分』(岩波書店)
矢嶋信男『常微分方程式』(岩波書店)

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎物理学 (前期)	佐藤 昌憲・小林 久夫	放1必	2

講義のねらい

物理学序論で学習した程度の内容を基礎とし、近代物理学成立に至るまでの物理学のうち、最も基礎となる力と運動、波動、熱さらに電磁気学を中心として学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 力学と運動
(速度、加速度、円運動、放物運動、運動量、エネルギー)
2. 波動の物理学
(音と光、共鳴、ドプラー効果、干渉と回折、偏光)
3. 熱力学
(熱と温度、熱力学の第一法則、第二法則)
4. 電磁気学
電界 (真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力)
磁界 (静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)
5. 電磁波
(自由空間における電磁波)

履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。基礎物理学 A では、力学、波動性および熱力学を、基礎物理学 B では、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。

成績評価の方法

基礎物理学 A・B の出席数、小テスト、定期試験により評価する。

教科書

基礎物理学 A 原 康夫著:『物理学通論 I』(学術図書出版社) 1,900 円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎化学	ほら だ かず まさ 原 田 和 正	放1必	2

講義のねらい

本講義では「放射科学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩基、酸化・還元
6. 反応速度論
7. 化学熱力学

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

井本稔・岩本振武著『化学 その現代的理解』（東京化学同人）1,930円

科目名	担当者名	配当学科	単位
生命科学（後期）	しみず よしかず 清水善和	放1選	1

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わったといえる。そこで、本講義では生物の進化（縦糸）と遺伝子（横糸）を二つのキーワードにして、現代生物学（生命科学）の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|------------------|----------------|
| 第1章 生体を作る物質 | 第6章 免疫 |
| (1) 生元素 | (1) 抗原と免疫のしくみ |
| (2) 有機物 | (2) 免疫のネットワーク |
| (3) 生体高分子 | (3) 血液型 |
| (4) 生命活動（酵素とATP） | 第7章 性と生殖 |
| 第2章 細胞 | (1) 遺伝子と染色体 |
| (1) 細胞のしくみ | (2) 細胞分裂 |
| (2) 生体膜 | (3) 性の決定様式 |
| (3) 共生説 | 第8章 遺伝 |
| 第3章 遺伝子 | (1) メンデルの法則 |
| (1) 遺伝子の働き | (2) 遺伝病 |
| (2) タンパク質合成 | (3) 集団遺伝学の基礎 |
| (3) 突然変異と進化 | 第9章 系統と分類 |
| 第4章 発生 | (1) 分類体系 |
| (1) 発生と遺伝子 | (2) 生物五界説 |
| (2) クローン | (3) 生物多様性 |
| (3) 細胞系譜 | 第10章 進化と進化論 |
| (4) 個体発生と系統発生 | (1) ダーウィン進化論 |
| (5) ヒトの発育段階 | (2) ネオ・ダーウィニズム |
| 第5章 神経と脳 | |
| (1) ホルモンと神経 | |
| (2) 情報伝達のしくみ | |
| (3) 脳の構造と働き | |
| (4) 脳と神経ホルモン | |

自然分野

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席点（回数に比例）と試験の点数を合算して評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

章ごとに必要な図表をまとめた補助教材のプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理技術(前期)	すぎた 杉田 徹	放1選	1

講義のねらい

情報化社会にあつて、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要と考える。この授業の目的は、パーソナルコンピュータを用いた情報の処理技術を習得することにある。誰もが、文書作成、編集、表計算とグラフ化、プレゼンテーション等にパソコンを自由に使いこなすことができる様、演習形式で授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

各自パソコンを操作して授業を進める。アプリケーションソフトは Win.Office.XP を利用する。授業スケジュールは下記の通りである。
 パソコンの構成 (ハードウェアとソフトウェア)
 オペレーティングシステムの概要
 キーボード操作技術 (ブラインドタッチの練習)
 インターネットと電子メールの利用
 アプリケーションソフトの活用
 MS ワードの利用 (文書作成と編集・管理)
 MS エクセルの利用 (表の作成と計算、グラフ化、マクロ技術 (VBA の初歩))
 MS パワーポイントの利用

履修上の留意点

情報教育センターでの授業になるので遅刻は厳禁。

成績評価の方法

試験は行わない。授業における提出物、演習成績、出席状況によって評価、単位認定を行う。

教科書

入沢寿美、田中伸英、高林茂樹、高橋裕著『インターネット時代の新情報活用』(サンウェイ出版) 1,800 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学序論(前期)	さとう まきのり こばやし ひさお 佐藤 昌憲・小林 久夫	放1選	1

講義のねらい

高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。基礎物理学で必要となる物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 力と運動
速度、加速度、運動の法則、エネルギー
2. 波動
波の性質、音波と光波、反射と屈折
3. 電気
電圧と電位、コンデンサ、電流と抵抗、オームの法則
4. 磁気
電流と磁場、電磁誘導、コイル

履修上の留意点

高校で履修しなかった学生を対象としますから、4月と5月の2ヶ月間での集中授業である。物理学序論 A では、力と波動を、物理学序論 B は、電気と磁気を中心に焦点をしばらく平易に解説する。物理における最低限の知識の修得と苦手意識を克服してほしい。

成績評価の方法

物理学序論 A・B の小テスト、定期試験により評価する。

教科書

物理学序論 A : 力武常次 都築喜弘著『〈チャート式〉新物理 I B・II』(数研出版社) 1,701 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 序 論	やま もと ゆう すけ 山 本 裕 右	放1選	1

講義のねらい

高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「基礎化学」、「放射線写真学」および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容について演習を行いながら進める。

1. 物質とは
2. 元素と単体、化合物
3. 原子、分子、イオン
4. 電子配置
5. 化学結合
6. 化合物の名前
7. 化学方程式
8. 化学量論
9. 物質の量
10. 濃度の計算

履修上の留意点

高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学はここにはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

成績評価の方法

平常の小テスト、定期試験で評価する。

教 科 書

井本稔、岩本振武著『化学－その現代的理解』（東京化学同人）1,930円＋税

参 考 書 等

R. J. Ouellette 著（岩本他訳）『化学その基礎へのアプローチ』（東京化学同人）2,400円
P. W. Atkins 他著（千原他訳）『物理化学の基礎』（東京化学同人）3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	放1選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①生活環境と放射線
- ②奥の細道と放射線
- ③植物と放射線
- ④食品中の放射性物質
- ⑤核実験と放射能
- ⑥食生活と人工放射能
- ⑦実効線量当量
- ⑧線量限度の考え方
- ⑨海洋の放射能
- ⑩病院での放射線

生活の中の放射線を話題として取り上げて、放射線に関する人・団体・施設・機器・種類や単位などを身近なものにする。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論	くま きか 熊 坂 さつき	放1選	1

講義のねらい

放射線技術者になるために、第1歩をふみ出した人達に、これからの指針の1つの手がかりになるような学習を行う。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ビデオを用いて医療現場と医者、スタッフの役割について学ぶ。
- ・ビデオを用いて、研究者とは何かについて学ぶ。
- ・簡単な実験を行い論文を書いてみる。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない
プリントを配布する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科 学 基 礎 論	<small>すぎ</small> 杉 <small>た</small> 田 <small>とある</small> 徹	放1選	1

講義のねらい

医療健康科学部の学生諸君には、将来、医療界における正確な生体情報提供者としての役目が課せられている。その問題意識にたつて情報についての基礎を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

半期のゼミ形式で進める授業である。基礎情報学を中心に、視聴覚教材を利用して授業を進める。キーワードは情報の定義、発生、伝達、情報の価値、創造的情報活動。

履修上の留意点

問題意識とやる気のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

試験は行わない。レポートと平常点によって評価、単位認定を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。資料は毎回配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科 学 基 礎 論	<small>たか</small> 高 <small>の</small> 野 <small>まさ</small> 正 <small>お</small> 雄	放1選	1

講義のねらい

新入生諸君はこれまで、受身で知識を勉強し蓄積してきた。これからも、さらに高度な知識を学び、放射線技師の道へと進んで行くことになるが、できうることならば、知識を生かして創造力を発揮できる技師に育ってもらいたい。本講では、身近な課題に対する解決策を討論し、創造性とは何かを理解することを試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

事前にテーマ(文献等も有り)を出し、それに対する自分なりの検討結果を発表し、討論する。

履修上の留意点

正しいか、正しくないかは気にせずに、自分なりの考え方をしっかりとつこと。

成績評価の方法

学習状況と出席などにより評価する。

教 科 書

毎回必要なものはプリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論	やまもと ゆうすけ 山本 裕 右	放1選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。また、パソコンを使つての数値計算も随所で行う。

- ・原子とは
- ・原子の中の電子
- ・安定同位体と放射性同位体
- ・放射能とは
- ・放射線とは
- ・エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきり見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する

参考書等

授業時間中に指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論	よし かわ こうき 吉川 宏 起	放1選	1

講義のねらい

放射線の種類と性質などの基礎知識と自然放射線を含めた放射線の生体への影響、放射線の医療への利用について概略を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

放射線発見の歴史を含めた過去の放射線利用について遡って、医学における放射線利用の光と影について概説する。放射線の医療応用における目覚ましい開発としてX線画像のデジタル化とX線CT (computed tomography; コンピュータ断層撮影) の2つが挙げられる。とくに後者ではMD-CT (multidetector CT; マルチディテクターCT) の開発によって高い時間分解能と高い空間分解能が実現し、心臓の冠動脈造影での有用性も示されるようになってきている。しかしこのMD-CTの発展によって一方では医療被曝の増大も指摘されている。本講義ではこうした臨床医療におけるX線利用の功罪についても具体的な臨床例を挙げながら解説する。

履修上の留意点

放射線についての正しい知識を得ることが重要で、医療における有用性を理解するとともに正しい検査適応を理解することが重要である。

成績評価の方法

筆記試験の他、レポート提出。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	放 選	4

講義のねらい

The most advanced English course available, it should give students the best preparation for study abroad. The course is conducted so that students may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will study something in English instead of studying English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Major emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Considerable time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 壽一郎 <small>おか ぎま といちろう</small>	放選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(3) 〔スペイン語圏文化の諸相〕	上野 勝 広 <small>うえ の かつ ひろ</small>	放選	4

講義のねらい

英米圏に比較して、スペイン語圏は一般に我々日本人にはなじみが薄い。しかし、そこは多様性に満ちた実に豊かな文化を有する地域である。この講義では、そうした文化の諸相の一端を歴史的な視点を軸に紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容について3分の2はスペイン、3分の1は中南米に関する話題を取り上げる。地理、観光、言語、文学、思想、美術、建築、祭り、音楽、映画等に歴史的な視点を意識しながら紹介してゆく。しばしばビデオ等の視覚的資料も提示する。

履修上の留意点

スペイン語にはあまり興味がなくても（あればなお良いが）、歴史を含めた様々な文化に関心を持つ人の受講を歓迎する。講義の理解にスペイン語の知識は必要ない。なお講義中の私語は厳に慎むこと。場合によっては退場していただくこともある。

成績評価の方法

毎回の授業終了時に提出するミニレポート（40%）に年間2回（前期末・後期末）の試験の結果（60%）を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

日本語の参考文献やホームページは、講義内容に合わせて随時授業中に紹介する。

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明人	放選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ 丸 小哲雄	放選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンはそのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座 (特権化された場所) を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化 (帝国主義と植民地化にたいする批判) することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者 (=文化) をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き：「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシエールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン (横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
11. レビュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、タム・ペーパー (レポート作成) などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

総合分野

3 . 外 国 語 科 目

外国語科目

3 . 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英 語〕

英語	I	A	〈町田尚子〉	49
英語	I	A	〈桧山晋〉	49
英語	I	B	〈桧山晋〉	49
英語	I	B	〈町田尚子〉	49
英会話	話	I	〈ウエルズ, J. K.〉	50
英会話	話	I	〈ソルタ, P. N. F.〉	50
英会話	話	I	〈ウエイド, D. A.〉	50
英会話	話	I	〈デンドウ, G.〉	51
英会話	話	I	〈ジトウィッツ, P. D.〉	51
英会話	話	I	〈ラージ, R.〉	51
英会話	話	I	〈プラスキー, J. C.〉	52
英語	L	L	〈甲斐捷子〉	52
英語	L	L	〈加藤佐和子〉	52
英語	L	L	〈久保ひさ子〉	53
英語	L	L	〈中林正身〉	53
英語	L	L	〈西村祐子〉	54
英語	L	L	〈埴美智子〉	54

《選択科目》

ドイツ語	I	A (選)	〈栗原万修〉	55
ドイツ語	I	B (選)	〈織田繁美〉	55

外国語科目

必修・選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	町田尚子	放1必	2

講義のねらい

現代科学の興味深い情報を英語で理解し、表現する基礎的力を培います。

講義の内容・授業スケジュール

下記テキストに沿って、章ごとに基本用語の聞き取りと内容理解の課題テストをします。テキスト終了後は科学の謎や諸問題に関する電子記事などを読みます。

履修上の留意点

授業は演習形式なので、担当して発表する積極的な参加姿勢を高く評価します。プリント教材は前もって授業時に渡します。予習と問題意識が授業に臨む前提です。

成績評価の方法

平常授業での発表と課題小テストを重視し、前期（中間）・後期（定期）の試験結果と同等の扱いで評価点を出します。

教科書

小堂俊孝他（編著）*Science Makes Life Exciting* 成美堂 1,700円
ISBN4-7919-4065-2C1082
プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	山晋	放1必	2
英語 I B			2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

授業中何度も発信を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	町田尚子	放1必	2

講義のねらい

現代科学の興味深い情報を英語で理解し、表現する基礎的力を培います。

講義の内容・授業スケジュール

下記テキストに沿って、章ごとに基本用語の聞き取りと内容理解の課題テストをします。テキスト終了後は科学の謎や諸問題に関する電子記事などを読みます。

履修上の留意点

授業は演習形式なので、担当して発表する積極的な参加姿勢を高く評価します。プリント教材は前もって授業時に渡します。予習と問題意識が授業に臨む前提です。

成績評価の方法

平常授業での発表と課題小テストを重視し、前期（中間）・後期（定期）の試験結果と同等の扱いで評価点を出します。

教科書

深山晶子他（編著）*Passport to Scientific English* ピアソン・エデュケーション 1,800円
ISBN4-89471-902-9C1082
プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ウェルズ, J. K.	放1年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION II!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ソルタ, P.N.F.	放1年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units, a workbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教科書

Communicate: Book 1 a / David Paul / Macmillan Language House.
Student's Book 1 a (1, 230) & Workbook 1 a (880).

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ウエイド, D. A.	放1年	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の小人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	デンドウ, G.	放1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ジトウィッツ, P. D.	放1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social use and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教科書

Teamwork by Richard Carrington, Macmillian Language House, 1994.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ラージ, R.	放1年	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	プラスキー, J. C.	放1年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves at a basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral/written test (20%) given during the last class meeting.

教科書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	甲斐捷子	放1年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意志伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意をして下さい。

教科書

Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	加藤佐和子	放1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教科書

『アメリカ英語の発音教本』(研究社)
『10分間 TOEIC リスニング演習』(桐原書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	久 保 ひさ子	放 1 年	2

講義のねらい	海外旅行の場面別で、一回で通じる短かい会話文を習得することをねらいとする。
講義の内容・ 授業スケジュール	旅行会話の短文を、ラボを使用して聞きとり、書きとり、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように、暗記する。毎回小テストあり。
履修上の留意点	LL 授業は、本来、ラボによる practical training のため、欠席しないように、お願い致します。
成績評価の方法	期末試験 50%、 実習授業 50% 但し、小テスト、発表を含む。
教 科 書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	中 林 正 身	放 1 年	2

講義のねらい	英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ぼくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験をとおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。
履修上の留意点	上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。
成績評価の方法	出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。
教 科 書	最初の授業時に指示する。
参 考 書 等	最初の授業時に指示する。
そ の 他	家庭や LL 自習室を利用しての予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	にしむら ゆうこ 西村 祐子	放1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってもまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語ではなしてみることからはじめる。後期は日常のスピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんど授業を英語ですすめるようになる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なもので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

参考書等

『サバイバルイングリッシュ』（朝日出版）1、2をおもに使用。テキストは購入する必要はない。
使用ビデオ：Grapevine 1,2,3, Survival English 1,2 など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	はなわ みちこ 埴 美智子	放1年	2

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LL教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『Perfect Listening (パーフェクト・リスニング) - TOEIC テスト対応問題付 -』（朝日出版）2,000円

参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

選択科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	栗原万修 <small>くりはらかずのぶ</small>	放選	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I A は文法です。このクラスもドイツ語の文法を最初からやります。でもこのクラスは選択なので、1科目だけしか履修しない人もおりますから、できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に続けないと習得できませんので、出席を重視します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

大岩『快速ドイツ文法 (14 課)』(朝日出版社) 2,100 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	織田繁美 <small>おだしげみ</small>	放選	2

講義のねらい

これからドイツ語を修得し、将来はドイツ人と話せる位いまで上達したい、或は高度な本を読めるようになりたい、でも、自分には無理だろうと諦めるのが殆どの場合かも知れないが、ドイツ語の世界に踏み込む最初の精神的ハードルを飛び越え、自分独りでその世界にどんどん突き進んでいく気構えさえあれば、今の時代は居ながらにして、大きな金銭的負担もなく実現できるようになっている。この授業では、諸君の前に立ちはだかるこの精神的なハードルが飛び越えられる一つの力強い機縁になるような方向に授業を進めたい。授業ではテキストの外に、プリント、カセットテープを併用し、多角的な面から勉強目標にアプローチをしていきたいと思う。

履修上の留意点

授業を2~3回も引き続き休むと、自分では気付かなくても語感が鈍り、他の学生に遅れを取ったという焦りが出るので、遅刻したり、欠席しないこと。

成績評価の方法

授業では一人に1~2行位いを辞書を見ながら訳してもらい、その都度出席簿にチェックされ、平常点として成績評価にかなりウエイトが置かれる。これに前、後期末のテスト結果が評価に加味される。

教科書

Stufen 1 (Klett 社) 3,580 円

外国語科目

4 . 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (ゴルフ)〈三 幣 晴 三〉	61
健康・スポーツ実習 (室内球技)〈山 口 良 博〉	62
保 健 理 論 〈吉 田 稔〉	62

保健体育科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	三 幣 晴 三	放1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)
- 4 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 6 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 7 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 8 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 9 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 10時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 11時限目：打撃練習 (パッティング)・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習 (パッティング)・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド (模擬コース)
- 14時限目：ラウンド (模擬コース)
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やま ぐち よし ひろ 山口 良博	放1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70 点)、実技テスト (20 点)、態度点 (10 点)、60 点以上を合格とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
保健理論 (前期)	よし だ みのる 吉田 稔	放1必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好 (well-being) な状態であって、単に病気に罹患していないとか、病的ではないということではない」。これは WHO 憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は 21 世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教科書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』(改訂7版)(南江堂) 2,400 円

参考書等

『国民衛生の動向』厚生指標 臨時増刊 (厚生統計協会)

II 專門教育科目

Ⅱ. 専門教育科目

解剖学	〈吉川宏起・作山攜子〉	67
環境保健医学	〈吉田稔〉	67
電気工学	〈佐藤昌憲〉	68
放射線物理学	〈小山正希〉	68
診療画像技術学概論	〈西尾誠示〉	69
放射線機器概論	〈氏家盛通〉	70
放射線写真学	〈古川克治〉	71
応用数学	〈熊坂さつき〉	72
診療画像技術学実験	〈西尾誠示 他〉	73
医用物理学実験	〈小山正希 他〉	74
医用化学実験	〈山本裕右 他〉	75

科目名	担当者名	配当学科	単位
解剖学（後期）	吉川 宏起・作山 攜子	放1必	2

講義のねらい	医療の道を歩む者にとって人体解剖学は最も基礎的な学問である。特に臨床の分野に従事する技師にとっては必須のものである。現状では画像は身体の前後像のみならず軸位、矢状、冠状各断層像に加え、3Dイメージなどによって診断が行われている。これらの画像を撮像するためにも解剖の理解は重要である。
講義の内容・授業スケジュール	骨格系、筋肉系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌、神経系などについて学ぶ。
履修上の留意点	将来診療放射線技師としてどの分野に従事するとしても基本的事項であるため、授業後は復習をし疑問点については次の時間に質問をする。
成績評価の方法	定期の筆記試験。出席は重視する。中間試験は評価の参考とする。
教科書	吉川、星、林共著『解剖生理学』（金原出版）3,000円
その他	講義を主とするが、OHPや模型を用いて重要なポイントを強調する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境保健医学（後期）	吉田 稔	放1必	1

講義のねらい	衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および全国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。
教科書	鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』改訂7版（南江堂）2,400円
参考書等	『国民衛生の動向』（厚生指標 臨時増刊）厚生統計協会 厚生省編『厚生白書』（厚生省統計協会） 環境庁編『環境白書』（大蔵省印刷局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
電気工学（後期）	佐藤 昌憲	放1必	2

講義のねらい

交流回路理論の基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1) 交流回路の基礎 | 2) 交流の平均値・実効値 |
| 3) 正弦波交流の基本回路 | 4) 交流の直列回路 |
| 5) 交流の並列回路 | 6) 交流の電力 |
| 7) 複素数とベクトル | 8) 交流回路の計算 |
| 9) 相互インダクタンスを含む回路の計算 | 10) 三相交流の基礎 |
| 11) 三相の結線方法と電圧・電流の関係 | 12) 三相交流の電力と力率 |
| 13) 平衡三相交流回路の計算 | 14) 電気計測（電圧・電流・電力の測定） |
| 15) 変圧器の基礎 | |

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

- 『新電気基礎問題集』（綜文館）800円
『電気基礎上』（東京電機大学）2,472円
『電気基礎下』（東京電機大学）2,369円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線物理学	小山 正希	放1必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主として光子）と物質との相互作用を中心として、最も多用されている X 線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- | | |
|---|------------------|
| 1) 放射線・放射能の定義と概念。 | 2) 放射線の種類と分類。 |
| 3) 光子（X 線・γ線）の粒子性。 | 4) 光電効果。 |
| 5) 原子の構造・粒子の波動性。 | 6) X 線回折・ブラッグ反射。 |
| 7) 軌道電子のエネルギー準位。 | 8) 輝線スペクトル。 |
| 9) 制動 X 線・特性 X 線の発生機構。 | 10) X 線の線質。 |
| 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。 | |
| 12) 吸収端現象とその応用。 | |
| 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動放射・チェレンコフ放射など）。 | |
| 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。 | |
| 15) 電子の飛程。 | 16) 放射線の単位。 |

X 線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習する X 線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用にあると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

成績評価の方法

定期試験の他、2～3 回行う中間試験および出席状況により評価する。

教科書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療画像技術学概論(後期)	にし おせい 西尾 誠 示	放1必	2

講義のねらい

医療の場において診療放射線技師の果たす役割とその関連事項及び診療画像技術学を学ぶ上で基礎となる X 線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①医療社会と放射線技師
医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- ②放射線技師の役割と医療人の条件
社会における診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- ③ X 線撮影の基礎
X 線の発生、線質、物質との相互作用、写真効果などについて
- ④ X 線画像の成り立ち
X 線照射量に依存する写真濃度と画像の拡大、歪み、重責効果など
- ⑤画質の基礎知識
画質を評価するときの対象となるコントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- ⑥良い画像と、画質を左右する要因
管電圧、フィルター、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- ⑦撮影条件の設定と考え方
最適な画像を得るための理論的な考え方、撮影部位ごとの課題と改善策について
- ⑧体の基準線と名称
X 線撮影を行う上で重要な基準線、ランドマーク、専門用語、体表解剖学について
- ⑨画像検査の種類
単純撮影、造影法、特殊撮影の原理と検査の基礎的知識について

履修上の留意点

講義はプロジェクターを用いるが、必ずノートをとること。

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、各自の学習意欲、授業態度も採点に加える。

教科書

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800 円

参考書等

講義用 CD 及びプリント

その他

授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線機器概論(前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	放1必	1

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種 X 線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 診療 X 線機器：X 線機器の概要、X 線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- ② 一般撮影装置：X 線装置・X 線発生装置、X 線制御装置。
- ③ X 線源装置、X 線用高電圧ケーブル、X 線高電圧発生装置、電源設備。
- ④ X 線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- ⑤ 関連用品：散乱 X 線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- ⑥ 診断用 X 線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- ⑦ 特殊 X 線装置：乳房用 X 線装置、泌尿器・婦人科系 X 線装置、乳幼児撮影装置。
- ⑧ X 線断層撮影装置、X 線間接撮影装置、X 線拡大撮影法・立体撮影法。
- ⑨ 循環器系 X 線検査装置：連続撮影装置、X 線シネ装置と関連機器。
- ⑩ X 線 CT 装置：原理と画像再構成、前処理と補正、X 線 CT 走査方式。
- ⑪ X 線 CT 検出器、寝台、X 線発生装置、X 線管、コンピュータシステム。
- ⑫ X 線 CT 装置の特徴：スリップリング方式、画像記録装置、画像記憶・表示装置。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な X 線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況による。

教 科 書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,004 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線写真学（後期）	ふる かわ かつ はる 古 川 克 治	放 1 必	2

講義のねらい

画像診断の根幹をなす、各種医用画像の画像形成につき、感光材料、感熱材料等の X 線センサー科学とその最新技術につき理解を深める。
また、近年話題が高まっている環境問題についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- i) 講義項目
- ① 感光材料（湿色フィルム）概論
 - ② 感光理論・現像理論
 - ③ X 線写真の成り立ち・各種 X 線センサーの特性
 - ④ X 線画像とその評価、センチメートル、鮮鋭度、粒状性
 - ⑤ ドライ感光材料とその記録方式・各種モダリティ画像
 - ⑥ 放射線写真に関する環境問題
- ii) スケジュール
- 感光材料／感光理論 H 15/9～10
画像の成り立ち、画像とその評価 H 15/10～11
ドライ感材／環境関連 H 15/11～12

履修上の留意点

- ① 期中 3 回前後のミニテスト実施予定。出席点は重視しない。
- ② 教科書、参考書、文献等（OHP、Video、PC）で理解を深める。
- ③ 各種臨床写真を供覧し、理論と写真を一体化させ、理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席状況、ミニテストを参考に最終評価する。
追試のみ実施。再試は「無」。

教 科 書

『放射線写真学』（富士フィルムメディカル株）5,700 円

参 考 書 等

- ① 日本写真学会編『改訂 写真工学の基礎 [銀塩写真編]』（コロナ社）
- ② 友田宜忠著『写真科学』（通商産業研究社）
- ③ 笹井明『写真の化学』（写真工業出版社）
- ④ 内田勝『放射線画像情報工学（Ⅰ）（Ⅱ）』（通商産業研究社）
- ⑤ T. H. James *The Theory of the Photographic Process, 4th Ed. '77* (Macmillan Co.)
- ⑥ T. S. Curry et al *Christensen's Introduction to the Physics of Diagnostic Radiology, 3rd Ed.* (Lea & Febiger '84)
- ⑦ 日本医用画像工学会監修『医用画像工学ハンドブック』（篠原出版）' 94
- ⑧ 環境法研究会編『環境六法 平成 14 年版』（中央法規）

そ の 他

授業方法：講義…Video、OHP、PC、臨床写真を活用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 数 学 (後 期)	くま さか 熊 坂 さつき	放 1 必	2

講義のねらい

放射線技術者として、将来必要になるであろう画像数学の基礎知識や、データ処理の方法について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・微分の応用
マクローリン展開など
微分方程式など
- ・確率と統計
平均、sd、ガウス分布など
- ・フーリエ級数・フーリエ展開

成績評価の方法

試験 (1 又は 2 回 / 年)、レポート

教 科 書

氏原真代『画像数学入門』(東洋書房)、プリント

参 考 書 等

『応用数学—1 工学専攻者のための』(内田老鶴圃新社)
 英保茂『医用画像処理』(朝倉書店)
 今里悠一『画像処理』(昭晃堂)
 和達三樹『微分積分』(岩波書店)
 矢嶋信男『常微分方程式』(岩波書店)
 十河清『キーポイント確率・統計』(岩波書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療画像技術学実験 (前期)(後期)	西尾 誠示・熊坂 さつき 長谷川 武・原 昌代 三浦 康平	放1必	1

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。
X線画像を左右する要因と基礎的な画質評価について実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① X線量と写真濃度
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- ② 撮影条件表の作成
アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- ③ 照射野の線量分布と撮影距離
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- ④ フィルムの特性曲線の作成
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。特性曲線と相対線量の関係を理解するとともに、その利用方法を学ぶ。
- ④ 撮影電圧とコントラスト
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- ⑤ 増感紙の感度
フィルムの特性曲線を作成し、各種増感紙の相対感度を求める。増感紙とフィルムの正しい組合せ、および感度と被曝線量の関係について学習する。
- ⑥ フィルム・増感紙の鮮鋭度/解像力
矩形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。マイクロデンシトメータの取扱いを習得する。
- ⑦ 散乱線の評価
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- ⑧ グリッドの性能評価
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、実技試験、学習意欲、レポートについて総合的に判定する。

教 科 書

実験内容を記したプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医用物理学実験 (前期)(後期)	<small>こいづま</small> 小山 正希・佐藤 昌憲 <small>なかにし</small> 中北 倫男・中本 淳 <small>もり</small> 森 啓	放1必	1

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデーターを処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは個人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医用化学実験 (前期)(後期)	<small>やまもと</small> 山本 裕右・ <small>かしお</small> 榎尾 英次 <small>たかたけ</small> 高田 健夫・ <small>はらだ</small> 原田 和正 <small>むらかみ</small> 村上 雅彦	放1必	1

講義のねらい

医療分野において必要な化学に関する実験を通して、化学の基本原理や概念を理解すると共に、化学実験における基本操作、薬品取扱時の基礎知識を学ぶ。また、実験で得られたデータを客観的に評価し、分子レベルで化学的に考察してレポートにまとめる能力を育成する。
 化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができるし、また、得られた実験結果に伴う誤差には原因があり、その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。
 必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調製法
4. ハロゲン化銀の感光性と現像、定着試薬との反応
5. 中和滴定による酸の定量
6. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
7. 分子模型実習
8. pHメータによる緩衝能の測定
9. 硫酸銅(Ⅱ)五水和物の合成
10. ヨウ素滴定による銅(Ⅱ)の定量
11. o-フェナントロリン法による鉄(Ⅱ)の比色分析
12. イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

- ・欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。
- ・遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。
- ・予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくること：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作り、使用する薬品の性質、器具の使用方法について下調べしておく。
- ・実験室内での規則を守ること：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。
- ・レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリント使用。

参考書等

新版『実験を安全に行うために(正)事故・災害防止編』(化学同人) 800円
 新版『実験を安全に行うために(続)基本操作・基本測定編』(化学同人) 700円
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

